

2024年版 環境経営レポート (第14期)

活動期間(2024年4月～2025年3月)



発行年月日 2025年4月20日

株式会社高松産業廃棄物センター

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営計画の取組結果とその評価
9. 次年度の環境経営目標並びに環境経営計画
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直し・指示

1.組織の概要

(1)名称及び代表者

株式会社 高松産業廃棄物センター

代表取締役 落合 由香

(2)所在地

本社：香川県高松市下田井町406番地12

小村事務所：香川県高松市小村町493-3

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 落合 由香

担当者 落合 由香

連絡先 TEL:087-847-7385

(4)事業内容

本社 一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業(感染性産業廃棄物)

小村事務所 家庭ごみ定期収集運搬受託業務

(5)事業の規模

設立日年月日	昭和47年8月31日
資本金	1,500万円
売上高	4億4千万円
従業員数	本社 15人 小村事務所 14人
延べ面積	本社 1052.38㎡ 小村事務所 1782.29㎡

(6)事業年度

4月～翌年3月

●許可の内容

【香川県 産業廃棄物収集運搬業】

- ①許可番号 第03703005658
②許可年月日 令和6年1月14日
③許可有効期限 令和11年1月13日
④事業範囲

積替え又は保管の有無:積替え又は保管を含まず。

取り扱う産業廃棄物の種類

- ①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、
⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、
⑩動植物性残さ、⑪ゴムくず、⑫金属くず、⑬ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、⑭がれき類
⑮ばいじん(但し、自動車等破砕物・水銀含有ばいじん等は含まない。石綿含有産業廃棄物並びに水銀使用製品産業廃棄物を含む。)以上

【香川県特別管理産業廃棄物収集運搬業】

- ①許可番号 第03753005658
②許可年月日 令和5年7月9日
③許可有効期限 令和10年7月8日
④事業範囲

積替え又は保管:積替え又は保管を含まず。

取り扱う特別管理産業廃棄物の種類

感染性産業廃棄物

【高松市 産業廃棄物収集運搬業】

- ①許可番号 第09710005658
②許可年月日 令和6年1月29日
③許可有効期限 令和11年1月13日
④事業範囲

積替え又は保管の有無:積替え又は保管を含む。

取り扱う産業廃棄物の種類

- ①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、
⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、
⑩動植物性残さ、⑪ゴムくず、⑫金属くず、⑬ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、⑭がれき類
⑮ばいじん(但し、自動車等破砕物・水銀含有ばいじん等は含まない。石綿含有産業廃棄物並びに水銀使用製品産業廃棄物を含む。)以上

【高松市 一般廃棄物収集運搬業】

- ①許可番号 高松市許可 第2号
②許可年月日 令和6年4月1日
③許可有効期限 令和8年3月31日
④事業範囲

積替え又は保管:積替え又は保管を含む。

事業系一般廃棄物(し尿を除く)

家庭系一般廃棄物(し尿を除く)

●施設の状況

【積替保管場所】 香川県高松市下田井町406番地12

【一般廃棄物】

生ごみを除き、一般廃棄物の種類と同じ

保管上限 8m³

その他の条件 定められた場所に置かれたコンテナを使用し、シート等をかけること。

また、処分施設搬入できない場合での保管に限る。

【産業廃棄物】

①廃プラスチック類②木くず③ゴミくず④金属くず⑤ガラスくず、⑥コンクリートくず及び陶磁器くず⑦がれき類

面積 (31.5m²) 保管上限 (48.95m³) 保管高さ (2.5m)

①廃プラスチック類②金属くず③ガラスくず、④コンクリートくず及び陶磁器くず

保管上限 (6.4m³) 屋内保管の為高さ制限なし

● 施設の状況

○収集運搬車輛

車輛形式	台数
6tパッカー車	5
4tパッカー車	8
3tパッカー車	4
4tコンテナ車	2
2tコンテナ車	2
4tトラック	1
750kg積トラック	2
軽トラック	3
フォークリフト	1
ホイールローター	1

● 処理実績

受託した廃棄物の量 2024年度 11,383.23 t

(1)産業廃棄物

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
木くず	t	113.61
がれき類	t	23.19
廃プラスチック類	t	968.64
医療廃棄物	t	16.57
合計	t	1122.01

(2)一般廃棄物

廃棄物の種類		単位	収集運搬量
事業系	可燃ごみ	t	5109.11
	その他:堆肥化用生ごみ	t	443.64
合計		t	5552.75
家庭系	不燃ごみ	t	1757.41
	その他:缶・びん・ペットボトル	t	1515.12
	その他:プラスチック容器包装	t	907.97
合計		t	4180.5

(3)再生資源の回収・収集等

再生資源の種類	単位	回収・収集等運搬量
金属	t	202.78
古紙	t	325.19
合計	t	527.97

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

- ・対象範囲(認証・登録範囲) 本社、小村事務所
- ・レポートの対象期間 2024年4月～2025年3月
- ・環境活動レポートの発行日 2025年4月20日

3.環境経営方針

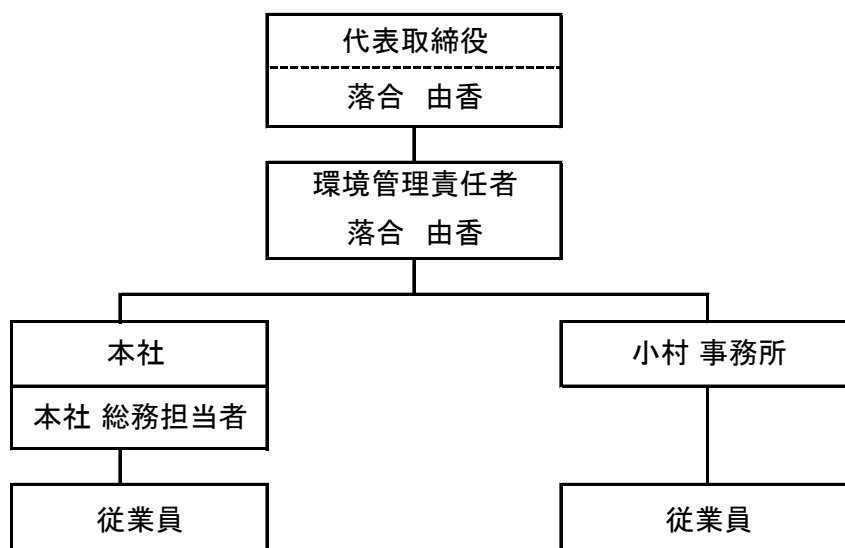
当社は、主要事業である産業廃棄物の収集・運搬事業を通じ、廃棄物の減量化・再資源化に積極的に関わり、迅速・確実・清潔をモットーに廃棄物処理業務を遂行することを基本方針とします。さらにエコアクション21環境経営システムを構築・運用することにより、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. エコアクション21ガイドラインに準拠して環境マネジメントシステムを構築し、環境関連の法規、条例等の規則を遵守するとともに、地域、業界、顧客の環境関連要求事項に配慮し、環境経営の継続的な改善を図ります。
2. 環境経営目標及び環境経営計画として、下記の重点項目を設定し、改善することで環境負荷の低減に取り組みます。
 - 1) 事業活動全般において、地球温暖化防止のためエネルギーの使用を低減し、二酸化炭素の削減に取り組みます。
 - 2) 収集運搬車両のエコドライブに取り組みます。
 - 3) 受託した一般及び産業廃棄物のリサイクルの推進に取り組みます。
 - 4) 自社で発生した廃棄物の再生抑制、再利用及びリサイクルに取り組みます。
 - 5) 収集運搬車の洗車や事業所の生活水の節水に取り組みます。
 - 6) 地域貢献活動を積極的に関与します。
3. □の環境経営方針は全従業員に周知を図るとともに社内外にも公表します。

制定日 2013年1月1日
改訂日 2023年4月1日

株式会社 高松産業廃棄物センター
代表取締役 落合 由香

4.環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・緊急事態想定と訓練実施の承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・環境経営レポートを承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者	・環境経営レポートを確認 ・緊急事態想定と訓練実施の確認 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・環境活動の取り組み結果を代表者に報告
総務担当	・環境管理責任者の補佐 ・緊急事態想定と訓練実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

5.環境経営目標

(1)2024年度目標

項目	単位	基準年(2021年)	目標
二酸化炭素の削減	kg－CO2	360,029	349,228
廃棄物排出量の削減	t	3.5	3.40
水使用量の削減	m ³	615	597
グリーン購買の推進	品目	3	3
地域貢献活動の推進	回数	0	2
収集運搬車両のエコドライブ推進	L	137,370.04	133,248.94
受託した廃棄物のリサイクル推進(分別収集できる取引先の増加)	件	1件	1件

(2)中長期目標

項目	単 位	目 標			
		基準年 (2021年)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素の削減	kg－CO2	360,029	356,429	352,828	349,228
廃棄物排出量の削減	t	3.50	3.47	3.43	3.40
水使用量の削減	m ³	615	609	603	597
グリーン購買の推進	品目	3	3	3	3
地域貢献活動の推進	回数	0	2	2	2
収集運搬車両のエコドライブ推進	L	137,370.04	135,996.34	134,622.64	133,248.94
受託した廃棄物のリサイクル推進（分別収集できる取引先の増加）	件	1件	1件	1件	1件

※電力のCO2発生量については、四国電力の実排出係数0.574(kg-CO2/kWh)を使用した。
(四国電力発表令和2年度実績に基づく)

※化学物質の使用はありません。

※受託した廃棄物のリサイクル推進は毎年1件ずつ増加を目標とする。

6.環境経営計画

期間： 2024年4月1日～2025年3月31日

項 目		活 動 内 容	実施責任者
CO2排出量削減	電気使用量の削減	①不要な照明を消す。	本社・小村 総務担当者
		②冷暖房時の室温を適正な温度にする。	
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底	本社・小村 現場責任者
		②タイヤの空気圧の点検	
	軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底	本社・小村 現場責任者
		②収集ルート効率化	
		③安全講習会の受講	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の裏表使用	本社・小村 総務担当者
		②ごみの分別徹底	
	産業廃棄物の削減	①廃棄物を分別し資源物に回す	本社・小村 総務担当者
水使用量削減	節水	①各水道、トイレに節水文字貼付	本社・小村 総務担当者
グリーン購入	グリーン購入	①再生紙などのエコ製品やグリーン購入マークの事務用品を購入	本社・小村 総務担当者
		②低排出ガス車を購入	代表者
地域貢献活動の推進	地域清掃活動への参加	①組合の清掃活動に参加	本社・小村 現場責任者
収集運搬車両の エコドライブ	軽油・ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②安全講習会の受講	本社・小村 現場責任者
受託した廃棄物のリ サイクル推進(スー パーの食材及び老人 ホーム等の食べ残し)	分別収集できる取引先の件 数の増加	①現在、生ごみリサイクルをしていない 老人施設等に働きかけてきちんと分別し てもらい、リサイクルの生ごみとして収集 を行う。	代表者

7.環境経営目標の実績

2024年度の実績

項目	単位	基準年(2021年)	目標	実績	評価
二酸化炭素の削減	kg-CO2	360,029	349,228	338,458	○
廃棄物排出量の削減	t	3.5	3.40	3.08	○
水使用量の削減	m ³	615.0	597.0	481.0	○
グリーン購買の推進	品目	3	3	5	○
地域貢献活動の推進	回数	0	2	2	○
収集運搬車両のエコドライブ推進	L	137,370.04	133,248.94	129,326.22	○
受託した廃棄物のリサイクルの推進(分別収集できる取引先の増加)	件	1件	1件	1件	○

* 評価基準 ○ 達成 × 未達成

※電力のCO2発生量については、四国電力の実排出係数0.574(kg-CO2/kWh)を使用した。(四国電力発表令和2年度実績に基づく)

コメント

二酸化炭素の削減	今年度も本社の方でコースの見直しが進み、軽油の使用量がさらに削減できた。特に、軽油使用量は毎年減少している。又、ガソリンの使用量も基準年に比べ減っている。
廃棄物排出量の削減	ゴミの分別を心掛けていて、ゴミの排出量は減っている。
水使用量の削減	今年度も目標が達成できた。節水は引き続き継続していきたい。
グリーン購買の推進	事務用品などはグリーン購入マークのあるものを極力選んで購入している。今年度も車両の購入ができた。
地域貢献活動の推進	サンポートの清掃活動や、瀬戸内海の清掃活動などに参加できた。
収集運搬車両のエコドライブ推進	目標が大幅に達成できた。今後も収集ルートの見直しやエコドライブの徹底に励んでいきたい。
受託した廃棄物のリサイクルの推進(分別収集できる取引先の増加)	今年度も目標の1件を増やすことができた。今後も引き続き顧客への働きかけを行う。

8.環境経営計画の取組結果とその評価

取組期間 2024年4月～2025年3月

項 目		活 動 内 容	4～9月	10～3月	評価	見直し
CO2排出量削減	電気使用量の削減	①不要な照明を消す。	○	○	無人の部屋はこまめに消灯を心掛け、温度設定も適正に管理した。	無人の部屋はこまめに消灯を心掛け、温度設定も適正に管理した。
		②冷暖房時の室温を適正な温度にする。	○	○		
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底	○	○	日ごろからエコドライブを意識して心がけている。	今後もエコドライブ運転を続けると同時に、収集ルートの効率化をさらに考えていきたい。
		②タイヤの空気圧の点検	○	○		
	軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底	○	○	エコドライブ運転を心がけている。収集ルートの見直しが進んで、燃料の使用量をかなり削減できた。	日野エコツリーレポートで、燃費の良い走りの結果が出ている。今後も継続していきたい。
		②収集ルートの効率化	○	○		
③安全講習会の実施		○				
廃棄物	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の裏紙使用	○	○	コピー用紙の裏紙使用も定着し、可燃・不燃・資源ごみの分別も心掛けた。	今後も継続していきたい。
		②ごみ分別の徹底	○	○		
	産業廃棄物の削減	①廃棄物を分別し資源物に回す	○	○	ごみの分別を行い、リサイクルできるよう取り組み組んだ。	今後も従業員の意識が向上するように呼びかけ、継続していきたい。
水使用量	節水	①各水道、トイレに節水文字貼付	○	○	節水の呼びかけを継続して行った。	節水の心掛けを継続していきたい。
グリーン 購入	グリーン購入	①再生紙などエコ製品の購入	○	○	事務用品はグリーン購入がある物を意識して購入している。今年度は車両が購入できた。	今後も物品等、エコ商品を取り入れていきたい。
		②低排出ガス車の購入	○	○		
地域貢献活動の推進	地域清掃活動への参加	①組合の清掃活動に参加	○	○	サンポートや丸亀市広島での清掃活動への参加。自治体の被災訓練にも協力できた。	今後も継続していきたい。
収集運搬車両のエコドライブ	軽油・ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底	○	○	今年度もコースの見直しがかなり進み、軽油の使用量の大幅な削減につながった。	引き続き燃費の向上をめざして、コースの効率化とエコドライブ、そして安全運行を徹底していきたい。
		②安全講習会の開催	○			
受託した廃棄物のリサイクル推進 (スーパーの食材及び老人ホーム等の食べ残し)	分別収集できる取引先の件数の増加	現在、生ごみリサイクルをしていない老人施設等に働きかけてきちんと分別してもらい、リサイクルの生ごみとして収集を行う。	○		昨年に引き続き、高齢者施設での生ごみのリサイクルの働きかけを行なった。	保育園や高齢者施設、スーパーマーケット等へのごみの分別の働きかけを今後も増やしていきたい。

※評価基準 ○ できている △ 不十分である × できていない

9. 次年度の環境経営目標並びに環境経営計画

(1)2025年度目標

項目	単位	基準年(2024年)	目標
二酸化炭素の削減	kg－CO2	336,888	333,519
電気	kWh	14,269	14,126
ガソリン	L	13512.69	13377.56
軽油	L	115813.53	114655.39
廃棄物排出量の削減	t	3.08	3.05
水使用量の削減	m ³	481	476
地域貢献活動の推進	回数	2	2
受託した廃棄物のリサイクル推進(分別収集できる取引先の増加)	件	1件	1件

(2)中長期目標

項目	単 位	目 標			
		基準年 (2024年)	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素の削減	kg－CO2	336,888	333,519	330,150	326,781
電気	kWh	14,269	14,126	13,984	13,841
ガソリン	L	13,512.69	13,377.56	13,242.44	13,107.31
軽油	L	115,813.53	114,655	113,497	112,339
廃棄物排出量の削減	t	3.08	3.05	3.02	2.99
水使用量の削減	m ³	481	476	471	467
地域貢献活動の推進	回数	2	2	2	2
受託した廃棄物のリサイクル推進 (分別収集できる取引先の増加)	件	1件	1件	1件	1件

※四国電力2025年4月7日公表、2023年度実績調整後排出係数0.464(kg-CO2/kWh)を使用。

※化学物質の使用はありません。

※受託した廃棄物のリサイクル推進は毎年1件ずつ増加を目標とする。

9. 次年度の環境経営目標並びに環境経営計画

期間： 2025年4月1日～2026年3月31日

項 目		活 動 内 容	実施責任者
CO2排出量削減	電気使用量の削減	①不要な照明を消す。	本社・小村 総務担当者
		②冷暖房時の室温を適正な温度にする。	
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底	本社・小村 現場責任者
		②タイヤの空気圧の点検	
	軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底	本社・小村 現場責任者
		②収集ルート効率化	
		③安全講習会の受講	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の裏紙使用	本社・小村 総務担当者
		②ごみの分別徹底	
	産業廃棄物の削減	廃棄物を分別し資源物に回す	本社・小村 総務担当者
水使用量削減	節水	各水道、トイレに節水文字貼付	本社・小村 総務担当者
地域貢献活動の推進	地域清掃活動への参加	組合や協会の清掃活動に参加	本社・小村 現場責任者
受託した廃棄物のリサイクル推進(スーパーの食材及び老人ホーム等の食べ残し)	分別収集できる取引先の件数の増加	現在、生ごみリサイクルをしていない保育園や高齢施設等に働きかけてきちんと分別してもらい、リサイクルの生ごみとして収集を行う。	代表者

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

見直し年月日 2025年 3月31日

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法	適用条項	具体的内容	遵守状況	確認日
廃棄物処理法	第3条	受託した廃棄物について、処理基準を遵守 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の使用 書面での委託契約 運搬車両の表示及び書面の備え付け	○	3月28日
		排出する産業廃棄物について、処理委託契約 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付 マニフェスト交付状況報告書の作成・県への提出		
フロン排出抑制法		3ヶ月に1回簡易点検をする 簡易点検の記録作成と保管	○	3月1日
浄化槽法		浄化槽設置、変更の際の届け出 定期検査の実施 保守点検、清掃の実施	○	2月21日
家電リサイクル法	第1条	特定家庭用機器の適正な引き渡し、料金の支払い等	○	3月28日
香川県環境基本条例	第5条	廃棄物を適正に処理する	○	3月30日
香川県放置自動車の処理に関する条例	第3条	勤務時間外は敷地内に適切に管理し、使用時は所定の駐車場所へ駐車する	○	3月28日
みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例	第4条	県が実施する緑化の推進とみどりの保全に関する施策に協力するよう努める	○	3月28日
香川県生活環境の保全に関する条例	第90条	地球温暖化の理解を深め、自動車によるCO2の排出を抑制するため、エコ運転を励行する	○	3月28日
	第92条	事業所にて発生する廃棄物の減少に努め資源の有効活用を図ると共に、電気の使用量を削減し省エネルギー活動を推進する	○	3月28日
	第93条	エネルギーの消費量が少ない電気機器等の使用及び電気機器等の効率的な使用に努める	○	3月28日
	第96条	環境マネジメントプログラム展開体制の組織の設置	○	3月28日
	第99条	アイドリングストップの励行	○	3月28日
高松市環境基本条例	第5条	廃棄物を適正に処理する	○	3月28日
高松市環境美化条例	第5条	容器包装の再資源化促進及びたばこの吸い殻等の散乱防止について従業員の意識の啓発を図る	○	3月28日
高松市廃棄物の適正処理及び再生利用の促進に関する条例	第6条	周辺の清掃を行い、清潔を保ち、みだりに廃棄物が投棄されないよう管理する	○	3月28日

* 過去3年間、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、地域住民、行政等関係機関からの違反・訴訟もありませんでした。

11.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

＊評価

・2024年度の環境経営目標は全項目達成することが出来た。

中でも、収集ルートの見直しが進み、今年度も軽油の使用量が削減できました。新車の導入もありますが、4トン車から6トン車への買い替えが多いので、この燃料使用量の削減はルートの見直しによるものが大きいと評価しています。

＜参考資料＞ 【 本社の軽油使用量の推移 】

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
年間軽油使用量(L)	90,710.95	89,824.34	88,525.30	86,425.30	82,224.73
比率(2020年を100%とした場合)	100%	99%	98%	95%	91%

・環境経営計画にて決めた事は実施できている。

今年度も講習会を開催しました。ドライバー一人一人の安全運行意識も高く維持できています。また運行データのフィードバックなども活用して、燃費の良い走りを日々目指しています。今後も引き続き、安全管理の徹底とエコドライブの実施をはかっていきます。

・瀬戸内海の丸亀市広島や、サンポートでの清掃活動に参加してきました。次年度も積極的に清掃活動に参加していきたいです。

＊見直し

今年度も昨年に引き続き、目標を達成することができました。今後も環境経営方針を再度確認しながら、可能な限り環境問題には適切に対応していくように取り組んで参ります。環境経営目標は2024年度実績を基準値として、中長期目標を策定し、2025年度に取り組みます。環境経営計画は一部変更します。環境経営方針及び実施体制については、継続して運用します。

2025年4月2日

代表取締役 落合 由香